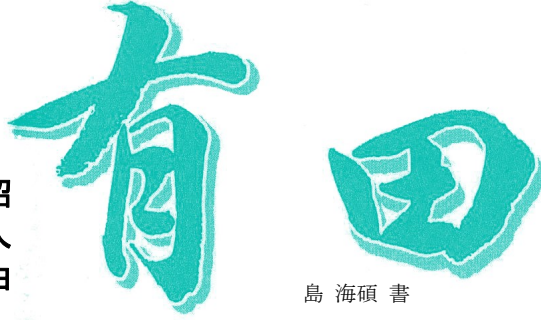


No. 3150

2025-2026年度

会 長 木本 隆昭
幹 事 児嶋 正人
クラブ広報小委員長 福田 一由



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



UNITE FOR GOOD

よいことのために
手を取りあおう

2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう

みんなに会おう」



次回のお知らせ

令和8年5月21日 第3152回

- 外部卓話：みやもと かずあき氏（絵本作家）
「絵本作家 還暦デビュー」
- ソング：「四つのテスト」

本日のプログラム

令和8年5月14日 第3151回

- 外部卓話：「知っておきたい相続税のポイント」
篠崎哲史氏・渋谷久美氏（湯浅税務署）
- ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第3150回例会）

開催日 令和8年4月23日(木)

点 鐘 [木本会長]

ゲストの紹介 [親睦活動小委員会 嶋田委員]

ゲスト:野田 ちよみ氏((社)桜樹 理事長、児童発達支援センター さくらんぼ園 園長)
池永 浩之氏((社)桜樹 事務長)

ニコニコ箱の報告 [川口SAA]

木本君:社会福祉法人 桜樹 理事長 野田ちよみ様、本日は移動例会をお受けいただき有難うございます。理事長の卓話楽しみです。宜しくお願いいたします。

児嶋君:本日はさくらんぼ園をお貸し頂き誠にありがとうございます。野田ちよみ様の卓話楽しみにしています。よろしくお願いします。

岩橋君:野田ちよみ理事長さん、卓話よろしく御願ひします。

橋爪(正)君:野田ちよみ理事長様はじめ、さくらんぼ園の皆様、本日は何かとよろしく御願ひします。

中村君:野田ちよみ先生ご無沙汰しております。本日は宜しくお願い致します。

宮井君:本日はお世話になります。卓話よろしく御願ひします。勉強させていただきます。

松村君:さくらんぼ園様お世話になります。野田ちよみ様、お話し楽しみにしています。

中元君:野田先生、本日の卓話よろしく御願ひします。

井上君:野田ちよみ様、本日の卓話よろしく御願ひします。

菅原君:野田ちよみ理事長様、並びにさくらんぼ園の皆様、保護者の皆様、本日はありがとうございます。宜しくお願い致します。

福原君:本日ローテーションデー、桜樹 野田理事長よろしく御願ひします。

嶋田君:ローテーションデーよろしく御願ひします。野田理事長様、池永事務長様、本日はよろしく御願ひ致します。

川口君:野田ちよみ様、本日は場所をお貸し頂きありがとうございます。卓話、宜しくお願いいたします。勉強させていただきます。5月よりクールビズです。

出席報告

[クラブ管理運営委員会 松村副委員長]

本日の出席者13名/24名
(うち出席規定免除者4名/7名)

会長の時間 [木本会長]

皆さん、こんにちは。4月19日の日曜日に、地区の新旧合同クラブ奉仕委員長会議が開催されました。私、出席してきましたので、報告をかねてお話しします。開催場所はJA和歌山ビルで、有田ロータリークラブからは、今年度委員長代理として木本、次年度委員長の酒井雄亮君、そして地区側として地区幹事の橋爪誠治さん、地域社会奉仕委員会委員の上野山栄作さんの4名が出席しました。会議全体での出席者は谷副ガバナーや岡本ガバナーエレクトをはじめ地区役員14名を含む69名のロータリアンが出席しました。また本会議にはインターアクターの方も多数出席されており、10校31人の生徒さんと引率の先生11名が出席されていました。

ここで、インターアクターの方についてですが、私は名称は知っていましたがどういう人たちが構成されているのかわりませんでした。会場で他のクラブの人に教えてもらうと、インターアクトクラブは学校の部活の一部で、顧問の先生が



存在し、クラブ活動としてさまざまな奉仕活動に取り組んでいる高校生達であるという事でした。そして、部活などでクラブは各高校単位で存在し、2640地区ではほとんどが大阪の高校で、和歌山県下では1校だけ(1クラブだけ)だという事でした。そんな中、4月9日の例会の時にゲストとして来てくれた諏訪光夢(すわひろむ)君が和歌山県のインターアクターとして出席していたことに感激しました。

会議では、一つのテーブルにロータリアンとインターアクターが各3名ずつくらいで一緒に座りました。先にインターアクターの活動報告、次にロータリアンの活動報告、そしてテーブル・ディスカッション(意見交換)が行われ、各テーブルのグループ発表が行われました。インターアクターの活動報告や意見交換は大変勉強になり、参加して良かったと思っています。5月17日には新旧クラブ青少年奉仕委員長会議が開催されますので、新旧委員長の方々には出席の程宜しくお願い致します。

幹事報告

〔児嶋幹事〕

- 1.新旧クラブ青少年奉仕委員長会議の案内が届いています。
- 2.和歌山県庁薬務課から令和8年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の協力依頼が届いています。
- 3.最後に例会変更の案内を後方に掲示しています。



委員会報告

※会長エレクト(菅原君)

さくらんぼ園でのロータリーデーが終了次第、経済クラブにて、第4回次年度理事会を開催いたします。関係者の皆様、よろしく願いいたします。

卓話



社会福祉法人 桜樹 理事長
児童発達支援センター
さくらんぼ園 園長

野田 ちよみ 氏

「さくらんぼ園のあゆみ

～子どもたちの笑顔と成長を見守って～

さくらんぼは、子ども達一人ひとりが主役になって生き生きと生活できる場所が欲しいとの保護者の思いが保健師、保育士を動かし、立ち上がりました。保護者に岩出のひまわり園を見に行ってもらったら、すごく楽しかった、子ども達が生き生きして、子どもが自然に楽しめる場所になっていると、感激して帰ってきました。その時、有田市に生まれやんかったら良かったというお母さんの言葉が心に強く刺さりました。そのような場所、子ども達が楽し

める場所を有田市に作ろう、有田市に産まれて良かったと思ってほしい、そういう思いで、マツゲン球場の一面を借りてスタートしました。天井が低くて、保育士がめまいをおこして倒れたりしたので、そこにいる時間を短くして散歩に行くなど、難しいからやめようではなく、できることを皆で考えて工夫してやってきました。

ビデオ「さくらんぼ10年の歩み」を見て頂きます。(約7分間。マツゲン球場で開始。朝の集まりから、散歩、給食、午睡など1日の流れや運動会、クリスマス会、生活発表会、卒園式などの様子。なごみへ移転。駐車場の一部に園庭整備。温かい給食始まるなど)

さくらんぼ初期の様子を見て頂きましたが、今さくらんぼ園でやっていることとほとんど変わりません。今日は、4歳児がクッキングでピザ作りをしていました。食パンやちくわ、ウインナーを包丁で切って、玉ねぎは切るのが難しいので、子ども達がむいて、保育士が切って、チーズをふって、トースターで焼いて、園長先生出来たよと持ってきてくれました。

さくらんぼ教室は、有田市が運営していました。私は、パート職員で園長。将来のことを考え2014年4月にNPO法人を立ち上げました。2020年4月に新園舎ができた時、こんな大きな園の園長をやって行けるのだろうかと思えがきました。その翌年、社会福祉法人 桜樹として運営を開始しました。

現在は、2歳児6名、3歳児6名、4歳児9名、5歳児8名、計29名。知的障害を伴う自閉症スペクトラム症、身体障害、ダウン症、障害が確定されていない、確定されない、発達がゆっくりな子ども達がいます。

子どもと向き合いながら育てていきますが、発達がゆっくりな子の場合、どうしたら良いのか、わたしのせいかと、悩むお母さんがいます。ゆっくりのお子さんでも発達していきます。健全な子は、急激に発達していくので分かりやすいのですが、ゆっくりの子は、なかなか変わらなくて、お母さんは、育てにくさを感じています。

さくらんぼの保育で大事にしていることは、9時から3時30分まで6時間30分の保育、お母さんと分かれて生活する中で給食を食べたり散歩に行ったり、楽しいことを繰り返し、子ども達は伸びていきます。

呼んだらこっち向くようになったなど、気づきを伝えていくのが保育士の役割です。伝えてもらうことによって父母は、わが子が成長しているんだということを確信して、子育てに頑張っていこうと思えるようになります。

私たちの療育は、保育をちょっと素敵にしたもの。また3つのことを大切にしています。子どもの発達保障、親の育ちとして子ども達が持っている特性の勉強。地域との交流です。

子ども一人ひとりの人格に向き合い、素敵などころを認め合いながら、子ども達から色々なことを教わりながら療育をしていきたいと考えています。

具体的ところで、散歩に行った時のこと、こっちへおいでと言ってもあっちへ行ってしまう、そっち違うと否定すると、障害のある子や発達がゆっくりの子はここでキヤーとなってしまいます。良い方法があります。行ってほしくない道の前に保育士が立ち、あっちですと言います。ここには子ども達の特性を理解して、立ち位置に配

慮がありました。見学に来てくださった方が、この子たち何かしんどさあるの？と問われますが、保育士の細かい配慮があります。

最後に、障害は治らないと言われました。でも。適切な関わりをすれば その障害が軽減される、さくらんぼ園はその役割を担っていきたくと思っています。

私たちの保育は、20歳を見据えた保育を行っています。今だけよかったらいい、今だけ楽しかったらいいのではなく20歳を見据えてこれからもそのようにしていきたいと思っています。一番大事にしていることは、子ども達と楽しいことをいっぱい重ねていきたいです。



閉会・点鐘

〔木本会長〕

ロータリーデー 遊具贈呈式・交流事業

